

「オカザえもん」大活躍

関連グッズ相次ぐ

岡崎市のご当地キャラクター「オカザえもん」。身長180センチという迫力と独特の風貌から小さな子どもが泣き出すこともあったが、「気持ち悪さ」や「ゆるさ」が話題を呼び人気に。「ご当地キャラ総選挙」で全国2位に輝くと、「一目見たい」「グッズがほしい」と訪れる人も増加。これを商機にと、市内の企業が関連商品の開発、販売を加速している。

(岡崎・東山麻衣子)

キャラをラベルに **大岡屋**

銘酒”でアピール **丸石醸造**

人気商品は入荷待ちも

オカザえもんの生みの親は、現代美術作家の斉と公平太さん。産店にはグッズがズラだ。6種類だったグッズが、市によるの5、深田達彦社長、めるという。「岡」の文字を顔に見り並ぶ。6月下旬の発注も30種類近くに増と、これまでに約80件電話0564・511・5564・2333。本社併設の藤て売り上げは伸ばした画している。16年は市立、胸に頼りない売以降、右肩上がりでえ、人気商品は入荷待ちの申請があった。販売の直売店や道の駅「藤て」で販売し、岡崎いが、微力ながらも岡制施行100周年の節「崎」が描かれたシュ伸び、今では月間45ちというほど。を始めた経営者は「無の直売店や道の駅「藤て」で販売し、岡崎いが、微力ながらも岡制施行100周年の節1ルさが特徴だ。0万円を売り上げる。グッズ製作には市を償のため手続きも簡を訪れた人が「このキ崎のPRに貢献するの目だ。」

■2カ月弱で1千万発売から間もなく1千通じて斉とさんに申請「単」と喜ぶ。酒類卸の大岡屋(本キャラだよね」と買い求めも努め」だと。

市議会9月定例会で、内田康宏市長は「オカザえもんの力を借り、観光客誘致や経済振興に結び付けた」と述べた。

3市の各商工会議所と2015年に徳川家康



キャラを前面に打ち出し、昔ながらのサイダーを身近に感じてもらう(大岡屋)



頬を赤らめたオカザえもんが「岡崎の銘酒でござる!!」とアピール(丸石醸造)

中部経済新聞

THE MID-JAPAN ECONOMIST

2013年(平成25年)

9 / 6

金曜日(日刊)

◎ 第22384号

◎ 中部経済新聞社2013